

2005 年度行事報告(続)

【講座】デジカメ講座(3)=====

日 時：2005 年 12 月 10 日(土)
場 所：千葉県立中央博物館講堂
講 師：大作 晃一
参加者数：18 名

デジタルカメラの CCD サイズの違いについて解説がありました。実際に、何台かのレンズ交換式の一眼レフカメラの中を覗いて CCD の大きさを比較することができました。

デジカメでは CCD の大きさが光学カメラのフィルムの大きさに相当します。その他に画素数も関係しますが、一般的に CCD が大きいとデータ量が大きくなって画質が良くなるそうです。当然カメラの価格は高くなりますが...

CCD の大きさを問題にする前に、そもそも写真撮る術のない私のような一般人は？ という事で、午後からは外に出て以下のような実習を行いました。

1. 物と空を被写体にした露出補正法
2. ススキを被写体にした光線の上手な利用法
3. きのを被写体にし、背景を一緒に写し込む方法

とても有意義な講座で、参加者の腕前も、上達すること間違いないと確信しました。

【第14回スライド大会】=====

日 時：2006 年 1 月 21 日(土)
場 所：千葉県立中央博物館講堂
参加者数：47 名

発表者・プログラム：(順不同)

浅井郁夫：日光のきのこ(2005 年 5~10 月)

村野忠夫：きのこの世界は子沢山 明るい将来を確信しているようです

大久保彦：地下生菌のきのこ

須賀良行：2005 年のきのこ

後藤康彦：今年のベニタケ

佐々木廣海：今年採取した主なきのこ

三休さん：三休むかしばなし 吸血！恐怖のヒル地獄編

吹春俊光：千葉菌ハウイの日米合同大会に参加す

吹春俊光：ニュージーランドのきのことり

この日、関東地方は大雪になりました(特に千葉はすごかった)。それでもスライド大会は開催されました。そして 50 名近くの参加者がありました。発表の中で特に興味深かったのはハウイで開催された日米合同菌学会の余興の「きのこグッズ競売風景」でした。

きのこグッズ展示会場では抽選会も行われ、手作りきのこグッズがプレゼントされました。

閉会后、(帰りの交通状況を心配しつつ...)くるぶしほどにも積もった雪を踏みしめ、新年会会場へと徒歩で向かい、美味しいお酒と鍋で温まり、大満足した一日でした。

【講座】腹菌類の系統分類と生物地理=====

日 時：2006 年 2 月 18 日(土)
場 所：千葉県立中央博物館研修室
講 師：糟谷 大河
参加者数：22 名

腹菌類の新進若手研究者の糟谷氏をお迎えしてのこの講座は、お話の内容は勿論、さらに 70 頁にも及ぶ超豪華テキスト付き！「参加しなくちゃ損だよ」という感じの講座です。

今回は風土記の丘で 1991 年に採集されたホコリタケの新種 *Lycoperdon shimousanum* Kasuya (2006 年に新種記載) などを含め、房総産のホコリタケ類の見分けかたについて勉強しました。午後から顕微鏡を使った実習も行いました。

2006 年度行事報告

【総 会】=====

日 時：2006 年 7 月 15 日（土）

場 所：佐倉城址公園

参加者数：47 名

総会が佐倉城址公園で行われ、事務局より 17 年度会計報告と 18 年度世話人と行事予定の提案がありました。また、千葉県立中央博物館の関連行事として「千葉県立房総のむら山観察会」、「公開きのこ鑑定会」が紹介されました。

【第 46 回観察会】=====

日 時：2006 年 7 月 15 日（土）

場 所：佐倉城址公園

講 師：吹春 俊光

参加者数：47 名

採取数：44 種（不明種を含む）

総会の後、各自城址公園の中を散策し、午後から同定会を行いました。当日は東大名誉教授の杉山純多先生もお見えになりました（下の写

真）。また、筑波大の早乙女さんに硬質菌の解説をしてもらいました。前日、関東地方に大落雷があり、大雨が降ったこともあり、キノコはかなり傷んだものが多かったように思います。

観察記録（50 音順）

Scleroderma 3 種、Tylopilus、アイゾメクロイグチ、アイトケ、アミスギタケ、アラゲキクラゲ、イロガワリ、ウズラタケ、オオキツネタケ、オオチャワンタケ？、オオツルタケ、オニイグチ、オリーブサカズキタケ、カバイロツルタケ、キアシグロタケ類縁種、キチャハツ、キツネノカラカサ、キヒダタケ、クモタケ、クリイロイグチ、クロアザワタケ？、クロラッパタケ、ケショウハツ、コナカブリテングタケ？、コフキサルノコシカケ、コムラサキシメジ、スジウチワタケ類縁種、センベイトケ、ツエタケ、ツブエノウラベニイグチ？、ツヤウチワタケ、ツルタケ、トキイロヒラタケ、ネンドタケモドキ？、ノボリリュウ、ハイイロイタチタケ、ハナオチバタケ、ヒイロタケ、ヒトヨタケ、ホソネヒトヨタケ、マツオウジ、ヤナギマツタケ

【第 47 回観察会】=====

日 時：2006 年 10 月 7 日（土）

場 所：泉自然公園

講 師：吹春 俊光

参加者数：54 名

採取数：60 種（不明種を含む）



2006 年はキノコ不作の年と思えたのですが、参加者全員の目で探したら結構たくさん見つかるものです。あらためて会員の眼力と執念に脱帽です。それから参加者の一人がスズメバチに刺されました。大事に至らなかったのは不幸中の幸いでしたが、皆さんも野外活動では十分注意しましょう。

観察記録 (50 音順)

Geastrum、Hebeloma、Lepiota、Limacella、Psathyrella、アイタケ、アカチャツエタケ、アシナガヌメリ、アシボソノボリリュウ、アラゲキクラゲ、イロガワリ、ウスヒラタケ、ウラベニホテイシメジ、ウラムラサキ、ウラムラサキシメジ、エゴノキタケ、エリマキツチグリ、オオツルタケ、オニタケ、カニノツメ、カレバキツネタケ、カワラタケ、キシメジ、キシウゲンジ、キチャハツ、キヒダマツシメジ、クサウラベニタケ、クリイロイグチ、クロラッパタケ、ケロウジ、シロタマゴテングタケ、シロニセトマヤタケ、シロハツ、スギエダタケ、ズキンタケ、スッポンタケ、ダイダイガサ、タマゴテングタケモドキ、タマチョレイタケ、チャウロコタケ、ツエタケ、ツチグリ、ツルタケ、テングツルタケ、トビチャチチタケ、ナラタケ、ナラタケモドキ、ニガクリタケ、ノボリリュウ、ハタケシメジ、ハナオチバタケ、ハナビラニカワタケ、ヒラフスベ、ヒロハシデチチタケ、フクロツルタケ、フタイロシメジ、マツオウジ、マメザヤタケの仲間、ミヤマタマゴタケ、ムラサキシメジ

【第 48 回観察会】=====

日 時：2006 年 10 月 21 日 (土)
場 所：市原市民の森
講 師：吹春 俊光
参加者数：64 名
採 取 数：47 種 (不明種を含む)

久しぶりに市原市民の森での観察会となりました。ここ数年、観察会場が限られていたので許可をもらえたことは嬉しい出来事でした。これからもマナーを守って、ずっと開催できるよ

うにしたいですね。今回、柄の赤いタマゴタケが採取されました。ヨーロッパの図鑑では似たようなものを見たことがありますが、実物は初めて見ました。また、色が多少褪せていましたがルリハツタケが採れるなど、さすがに自然度が高い森だと感心しました。

観察記録 (50 音順)

Amanita、Pholiota、アイシメジ、アカヤマタケ、アシナガヌメリ、ウラベニホテイシメジ、オオゴムタケ、オニフウンセンタケ、カイガラタケ、カノシタ、カラカサタケ、カワリハツ、ガンタケ、キシメジ、キチチタケ、クサウラベニタケ、クロコタマゴテングタケ、コガネタケ、コタマゴテングタケ、コテングタケモドキ、サクラシメジ、ザラエノハラタケ、シロイボカサタケ、シロカノシタ、シロハツ、スギエダタケ、タマゴタケモドキ、タマシロオニタケ、チリメンタケ、ツチグリ、ツチナメコ、トビチャチチタケ、ナラタケ (広義)、ニオイキシメジ、ニオイコベニタケ、ニガクリタケ、ヌメリイグチ、ヌメリササタケ、ハエトリシメジ、バカマツタケ、ハタケシメジ、ハツタケ、ヒトヨタケ、ヒロヒダタケ、フタイロシメジ、ホンシメジ、ルリハツタケ

【第 15 回スライド大会】=====

日 時：2007 年 1 月 27 日 (土)
場 所：千葉県立中央博物館講堂
参加者数：50 名

スライド発表

腰野文男：下総台地のきのこ、神道山のきのこ
宮林八男：千葉のヒラタケ、故郷山形の初めて採ったマツタケ、など

= 昼休みなどにキノコグッズの展示・解説 =
→ 詳細は次のページ

村野忠夫：ちば千年の森のキノコ
須賀良行：2006 年のきのこ
吉田幸二：タスマニア旅行ときのこ
三休さん：三休むかしばなし 仙台合宿編

大作昇一：妙高高原で行った雑誌取材「博物学的登山の勤め」の撮影写真紹介

ハンドベルサークル「すずらん」による演奏
曲 目：「抱いてセニョリータ」「瞳を閉じて」

大雪だった昨年と打って変わり、今年の暖冬を証明するような暖かく穏やかな日よりでの、また、NHK千葉放送局の取材が急きょ入るとい思いがけないスライド大会となりました。その模様は、当日の午後6時からNHKニュースで放送されました。

当初発表予定だった大久保彦さんの「関東周辺の *Tuber* 属菌の形態的特長と生育地環境」は持参したデータの不具合で発表中止となりました。また機会がありましたら是非発表していただきたいものです。

きのこグッズ展示会場では力作「シュー生地のかのこ」を始め、食用きのこ毒きのこの図を掲載した「110 年前のフランスの新聞」など貴重なものもありました。

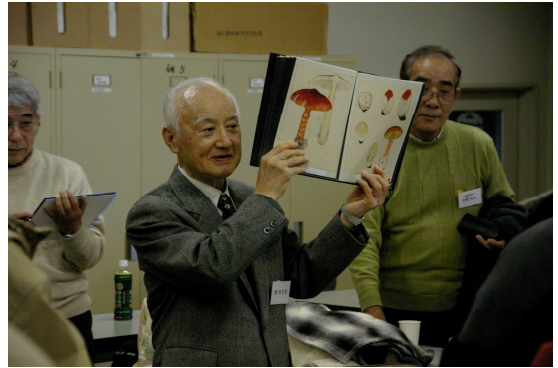
恒例の「すずらん」によるハンドベル演奏は昨年が大雪で中止だったため、2年振りの演奏でしたが、日頃の練習の成果が発揮された素晴らしいものでした。これからも楽しみにしています。

キノコグッズ展示コーナーより

小物展示世話人

今年もスライド大会小物展示にご協力頂きありがとうございました。

腰野会長のキノコのスケッチブックをはじめ、キノコのパン、前日に採集した生のキノコ、乾燥標本、レプリカ、俳句、竹べら、数々の小物類など、見ごたえがあったと思います。このコーナーは、今は亡き相京さんの発案で始まり、キノコの染め物やキノコ絵の年賀ハガキなど、特徴あるものの展示をして下さいました。今までにもキノコの写生画、写真、図鑑、Tシャツ、ネクタイ、靴、テーブルクロスなど、市販・手作りを問わない小物類の数々が展示されてきま



ご自身のきのこスケッチ帳を披露する腰野会長



自慢の品をここぞとばかりに自慢する人、それに見入る人

した。以前展示された品々でも、時間が経てばもう一度見たい方もあるはず！ぜひ再度の展示をよろしくお願いいたします。

展示コーナーからのお願い！

『面白キノコ』写真の募集

変わった所に生えたキノコ、変な形のキノコ、キノコに見える変なもの・・・そんなキノコをぜひ次回の展示で紹介したいと考えています。今度見つけたら写真撮影をよろしくお願いいたします。

すでに撮影してお手持ちとしてあるものも、新たに見つけた面白キノコの写真も含めて、すべて紙焼してご持参ください。大きさは自由。表現したいサイズでOK！何枚でも可。作品には出品者名とタイトル、できればコメントもお願いします。傑作待っています。